

2023 年度

芸術 科 シラバス
(書道)

山形県立長井高等学校

科目	書道	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	1 年次、共通
使用教科書 副教材等	教科書「書道Ⅰ」（教育出版）						

目 標	①諸活動を通し、書道の様々な分野への興味を高め、基本的な知識・技術を身に付けましょう。 ②諸活動を通して書道の美しさを味わい捉えられるようになりましょう。 ③感性を高め生涯に渡り書道を愛好する心情と豊かな情操を育て、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養いましょう。
-----	---

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ステップ 3 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
	ステップ 2 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の活動に取り組み、書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活していく態度を養う。
	ステップ 1 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解するとともに、書写能力の向上を図り、基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考えることができるようにする。	主体的に書の活動に取り組み、書を愛好する心情を育むとともに、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活していく態度を養う。
評価方法	授業時の取り組み 実技提出作品 レポート	授業時の取り組み 実技提出作品 レポート	授業時の取り組み 実技提出作品 レポート

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

授業の形態、方法

一斉授業です。

担当者より

通常授業では、予習・復習の必要はありません。 提出作品が大切ですので、遅れても必ず提出しましょう。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い		実施時数
4	1. 導入	前期中間Ⅰまで 9	①オリエンテーション 書写から書道へ ②基本的な筆使いの確認	1 ・芸術としての書道の様々な分野について学習し、興味関心を高める。 ・用具等の学習。	前期中間Ⅰまで
5	2. 楷書		①書体の変遷と鑑賞 ②欧陽詢『九成宮醴泉銘』 ③虞世南『孔子廟堂碑』 ④顔真卿『顔氏家廟碑』 ⑤褚遂良『雁塔聖教序』 ⑥牛橛造像記 ⑦遜義鄭下碑	2 ・それぞれの古典の特徴を学習し、臨書する。 ・その後、倣書する。	
6					
7・8	3. 楷書の作品制作	前期中間Ⅱまで 8/17	古典の選択と制作	3 ・半切1／4の作品を制作する。 ・自分に合った古典を見つける。 →校外展に出品	前期中間Ⅱまで ／
9	4. 行書		精神を集中させ、細字に取り組む ①行書の基本・特徴 ②王羲之『蘭亭序』 ③顔真卿『争坐位稿』 ④空海『風信帖』 ⑤その他の行書	4 ・行書の筆使いを徹底した上で、作品製作をめざし学習する。 ・臨書の後、倣書する。 ・これまで書き溜めた折半紙制作品を全国展に応募する。	
10	5. 写経 6. 篆刻			6 ・簡単な篆書の学習後、自分の印稿を考える。→（デザイン性）	
11		後期中間まで 13/41	自分の雅印制作		後期中間まで ／
12	7. 隷書 8. 仮名 9. 実用書	年度末まで 19/60	『曹全碑』を主に 仮名の鑑賞と臨書 葉書の書き方、他	7 - 9 ・様々な文字の存在を知る。 ・仮名の地歴史と基本を学んだ上で、ちらし書きまで。	年度末まで ／
1	10. 作品製作 11. まとめ		古典臨書 自由創作	10 ・自分の筆力に合った古典を選択する。 →校外展に出品（来年度）	
2・3					
合計時数		60			